

秋号

伝統芸能

日本の祭り



佐賀県 武雄市
「武雄の荒踊」



新潟県 糸魚川市
「根知山寺の延年」



三重県 伊賀市
「上野天神祭(鬼行列とだんじり)」



秋田県 仙北市
「角館祭りのやま行事」

いま、出かけよう！
日本の心を感じる祭典へ！

古来より、その地に根付く歴史と伝統を今に伝える祭りとして、
先人たちより受け継がれてきた、芸術と技能がここにある。

この冊子の内容は右記のホームページからご覧になれます。地域伝統芸能活用センター <http://www.dentogeino.or.jp>

この冊子は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



歴史と伝統の継承。 日本の魂をつなぐ祭り と伝統芸能

地域伝統芸能受賞祭事を中心に選出しています

実施日 毎年9月24日
今年は9月24日(木)



島根県 松江市 **佐陀神能**

実施日 毎年9月20日
今年は9月20日(日)



石川県 七尾市 **熊甲二十日祭の
杵旗行事**

実施日 毎年10月23日~25日
今年は10月23日(金)~25日(日)



三重県 伊賀市 **上野天神祭
(鬼行列とだんじり)**

実施日 毎年8月31日、9月1日
今年は8月31日(月)、9月1日(火)



新潟県 糸魚川市 **根知山寺の延年**

実施日 毎年各地にて開催
今年は8月22日(土)…横浜人形の家 赤い靴劇場
9月19日(土)…川崎市立日本民家園 旧工藤家住宅



神奈川県 小田原市 **相模人形芝居(下中座)**

5 9月 くまかぶと はつか まつり わくぼたぎょうじ **熊甲二十日祭の杵旗行事** **P4**

3 8月 くた ほながさ おどり **久多の花笠踊** **P3**

6 9月 さだしんのう **佐陀神能** **P4**

7 9月 たけお あらおどり **武雄の荒踊** **P5**

9 10月 こようじんじゃ くぐつ まい すもう **古要神社の傀儡子の舞と相撲** **P5**

8 10月 うえのてんじんまつり **上野天神祭
(鬼行列とだんじり)** **P5**

4 9月 かくのだてまつり きょうじ **角館祭りのやま行事** **P4**

1 8月 ねちやまでら えんねん **根知山寺の延年** **P3**

2 8月 きらいごう **鬼来迎** **P3**

10 通年 さかみ にんぎょうしばい **相模人形芝居(下中座)** **P6**



目次

- 日本各地の祭り・伝統芸能分布図 …… P1・P2
- ① 根知山寺の延年 …… P3
- ② 鬼来迎 …… P3
- ③ 久多の花笠踊 …… P3
- ④ 角館祭りのやま行事 …… P4
- ⑤ 熊甲二十日祭の杵旗行事 …… P4
- ⑥ 佐陀神能 …… P4
- ⑦ 武雄の荒踊 …… P5
- ⑧ 上野天神祭(鬼行列とだんじり) …… P5
- ⑨ 古要神社の傀儡子の舞と相撲 …… P5
- ⑩ 相模人形芝居(下中座) …… P6

新潟県
糸魚川市ねちやま であら えんねん
根知山寺の延年

実施日

毎年8月31日、9月1日
今年は8月31日(月)、9月1日(火)

山寺集落に伝わる神事

糸魚川市根知地区山寺集落で古来から保存・伝承されている「根知山寺の延年」は、舞の中の有名な踊り「おててこ舞」が一般に祭りの総称として広く親しまれています。

名称は、「遐齡延年」という言葉に由来し、「遐齡」は長寿、「延年」は奈良や京都の寺院で法会の後に行われた余興の歌舞遊宴の芸能を指します。芸能によって心を和らげることが寿福増長につながるという意味があります。

新潟県内に伝わる唯一の延年芸能であり、昭和55年1月28日に国の重要無形民俗文化財に指定されています。風流(初期の歌舞伎踊)と稚児舞楽を中心に神楽・万才・獅子舞の類が加えられた計10曲で構成され、舞の由来や起源は明らかではありませんが、歌詞の中に室町小歌に見られるような言葉や使い方があって、京都の流れを汲み、400~500年前から伝わるものと考えられています。毎年9月1日の日吉神社の祭礼に奉納され、また、前日8月31日の夜には宵宮として9曲が奉納されるほか、夜店や盆踊りもあり、山里ならではの風情が感じられます。

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



アクセス

電車：JR北陸新幹線、えちごトキめき鉄道「糸魚川駅」より
バス約40分「山寺上入口」バス停下車徒歩約10分
車：北陸自動車道「糸魚川IC」より約25分

糸魚川市 ホームページ

<http://www.city.itoigawa.lg.jp/dd.aspx?menuid=4164>
千葉県
横芝光町きらいごう
鬼来迎

実施日

毎年8月16日
今年は8月16日(日)

全国唯一といわれる古典的仏教劇

鬼来迎は、毎年、8月16日の旧暦お盆の送り火の日、千葉県山武郡横芝光町虫生地区にある広済寺境内で開催される民俗芸能である。その内容はお盆行事の施餓鬼会の後、境内の特設舞台で、塩振りのお浄めをして大序、賽の河原、釜入れ、死出の山と地獄の光景を、閻魔、俱生神、赤鬼、黒鬼、鬼婆、亡者、地藏、観音などがかわるがわる出て演じます。

その起源は、同寺が創建された鎌倉時代と言われ、鎌倉仏教布教のためはじめられ、能・狂言より古いたと考えられる仏教劇で、以前は寺創建縁起譚の3段を含め、7段の構成で行われていました。



アクセス

電車：JR総武本線「横芝駅」下車、徒歩約60分
車：圏央道「松尾横芝IC」より銚子連絡道終点

横芝光町商工会

<http://yokoshibahikari.jp/kiraigou/kiraigo.html>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。
お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

京都府
京都市くたはな がさ おどり
久多の花笠踊

実施日

毎年8月24日
今年は8月24日(月)

美しい花笠が舞う、国の重要無形民俗文化財

久多の花笠踊は、地元で花笠と呼ぶ、美しい造花で飾った灯笼を手に持ち、太鼓に合わせて歌い踊るもので、中世に流行した風流踊(ふりゆうおどり)の様子をうかがわせるものです。

8月24日の夜になると、それぞれの花宿ごとに町内の人びとが集まり、花笠の行灯の蠟燭に火をともし、それを持って各花宿から出発し、まず上の宮神社に集まります。「神殿(こうどの)」と呼ばれる者が、花笠を受け取り社殿に供えて祈った後に、花笠を人びとに戻します。まず棒を持った「より棒」と呼ばれる者が、互いに棒を打ち合い、その後、締(しめ)太鼓を打って歌い、花笠をもって踊ります。次に大川神社に移動して踊り、志古淵(しこぶち)神社に向かいます。上の宮神社と同様に、花笠を「神殿」に渡して社殿に供え、「神殿」の祈りの後に花笠を受け取り、「より棒」が盆踊の輪を割るように進み、拝殿前で棒を打ち合うと、盆踊が終わり花笠踊が始まります。踊りは「道行(みちゆき)」「綾(あや)の踊り」「塩汲(しおく)み踊り」など七曲がここで披露されます。



写真提供:京都市文化財保護課

アクセス

車：京都市街方面より、白川通り花園橋交差点から
国道367号線を北上し、大津市葛川梅ノ木より約6km。
大阪方面より、湖西道路(国道161号線)「真野IC」より
国道477号線を西行し、大津市途中にて国道367号線
へ右折北上し、大津市葛川梅ノ木より約6km。

京都府商工労働観光部観光課

<http://www.pref.kyoto.jp/gyoji/k14.html>

秋田県
仙北市

かくの だて まつ ぎょうじ
角館祭りのやま行事



実施日

毎年9月7～9日
今年は9月7日(月)～9日(水)

迫力ある曳山の激突「やまぶっつけ」は必見!

約400年の伝統を誇る角館のお祭りは、「角館祭りのやま行事」として平成3年に国の重要無形民俗文化財として指定されています。地域繁栄と無病息災などを願う「角館神明社」と「薬師堂」のお祭りが一緒になったもので、各丁内から武者人形や歌舞伎人形をのせた18台の曳山(ひきやま)が曳き廻されます。毎年9月7日・8日・9日の三日間に渡り行われ、7日には曳山が神明社へ参拝に向かい、8日には武家屋敷通りを抜けて佐竹北家当主への上覧に向かいます。8日と最終日の9日には薬師堂に上がります。18台の曳山には、笛、大太鼓、小太鼓、鼓、摺り鉦、三味線等により「おやま囃子」(おやまばやし)を奏する人たちが乗り終始囃し、秋田おぼこたちが艶やかに手踊りを披露します。若者たちは、神明社・薬師堂への参拝、佐竹北家への上覧等を目的としながら山車(やま)を曳き廻します。飾山囃子・艶やかな手踊り、勇壮な曳山の激突で知られる「角館のお祭り」のクライマックスには迫力ある「やまぶっつけ」がご覧いただけます。



アクセス

電 車 : JR「角館駅」より徒歩約0分
車 : 東北自動車道「盛岡IC」より約80分
秋田自動車道「大曲IC」より約40分

角館のお祭り実行委員会

<http://www.city.semboku.akita.jp/event/event.php?id=554>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

石川県
七尾市

くま かぶと は つ か まつり わく ばた ぎょうじ
熊甲二十日祭の粹旗行事



実施日

毎年9月20日
今年は9月20日(日)

高さ20mにもなる深紅の粹旗を担いで練り歩く

この祭りは、国指定重要無形民俗文化財・熊甲二十日祭(くまかぶとはつかまつり)の粹旗行事(わくばたぎょうじ)で、久麻加夫都阿良加志比古神社(くまかぶとあらかしひこ)(熊甲神社)の大祭で、毎年9月20日に行われることから「二十日祭り」とも呼ばれています。町内の各集落に鎮座する19の末社からくり出した神輿は、猿田彦の先導で、高さ20メートルばかりの深紅の大粹旗やお道具を従え、「イヤサカサー」の掛け声と鉦・太鼓の音も賑やかに、本社に参入します。拜殿に全神輿が参入すると、本社で奉幣式に移り、若衆が鉦・太鼓を打ち鳴らし、それに合わせて猿田彦が境内にいっぱい乱舞します。

祭典後、本社の神輿を先頭に「しらい」で決まったクジ順に渡御が行われ、境内から700メートルほど離れた加茂原(かもはら)へ移動します。お旅所である加茂原では、お練が行われ、時計と反対廻りに3回廻ります。早廻りや粹旗を地上すれすれまで傾ける「烏田くずし」と呼ばれる大技も披露され、祭りは最高潮に達します。



アクセス

車 : のと里山海道「横田IC」よりすぐ

ななoh!ネット

<http://www.nanaoh.net/p136.html>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

島根県
松江市

さ だ しん のう
佐陀神能



実施日

毎年9月24日
今年は9月24日(木)

現代に継承される出雲流神楽

鹿島町の佐太神社の祭礼の一つに、9月24日の夜の御座替神事がある。その当日から翌日にかけて行われるのが「佐陀神能」で、今日、その内容は、直面の執物舞による「七座」と、祝言としての「式三番」、着面の神話劇の「神能」の3部からなります。この3部構成の舞を佐陀神能と呼ぶようになったのは、氏子有志による佐陀神能保存会が発足した大正年間からです。3部のうち、神能はその構成が、シテ、ワキ、ツレ、トモの役立ちになり、詞の間に地謡でつなぎ、囃子として笛、小鼓、大鼓、太鼓を主として、全くの能方式をとっており、全国どこにもない、この地独自のものであることから出雲神楽の源流と言われています。

佐陀神能は年を経るに従って興隆し、その知名度も高まり、昭和51年(1976)5月には、国の重要無形民俗文化財の指定を受け、また、平成23年(2011)11月27日にはユネスコ無形文化遺産に登録されました。

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



アクセス

車 : 山陰自動車道「松江ランプ」より約30分
※車以外での交通手段については、お気軽にご相談ください。

佐太神社

<http://sadajinja.jp/>

佐賀県
武雄市

武雄の荒踊

毎年9月の彼岸の中日
今年は9月23日(水・祝)



素朴、流麗、力強さ、躍動感に包まれた感動の世界

旧武雄領内に伝承される民俗芸能で、その起源については諸説があり、一説に享禄3年(1530)鳥原の有馬氏が武雄を攻めて住吉城に迫った時、第18代武雄領主後藤純明が夜襲によってこれを破り、その戦勝祝いに足軽たちが即興的に踊ったのが始まりといわれています。その後、永禄6年(1563)有馬氏は第19代武雄領主後藤貴明を鳥原に招待して暗殺を計画しました。貴明は、家臣たちに踊り衣装を着けさせて同行させ、一応の礼式が終わったところで、踊りを披露し、貴明も踊りながら出て行ってしまった。このときの踊りを「荒踊」といって伝えられています。

現在は、毎年9月の彼岸の中日に各地区の氏神社(中野は磐井八幡社、宇土手は正一位神社、高瀬は松尾神社)で奉納されています。

荒踊は、モッコ(猛将、模師匠)とカキ(垣)と呼ばれる踊り手と、笛・鉦・モリヤシ(締め太鼓)・大太鼓の囃し方及び謡い手から構成され、謡い手の唄にあわせて、力強く軽快に踊られます。その所作や情緒的な歌詞など、地域特性が際立ち、伝承も確かな芸能として貴重です。

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

アクセス

- 武雄の荒踊り(高瀬の荒踊り)..... 電 車 : JR佐世保線「武雄温泉駅」より車約20分
車 : 長崎自動車道「嬉野IC」より約10分
- 武雄の荒踊り(宇土手の荒踊り)..... 電 車 : JR佐世保線「武雄温泉駅」より車約15分
車 : 長崎自動車道「嬉野IC」より約10分
- 武雄の荒踊り(中野の荒踊り)..... 電 車 : JR佐世保線「武雄温泉駅」より車約10分
車 : 長崎自動車道「武雄北方IC」より約10分

武雄市観光協会

<http://www.takeo-kk.net/>

三重県
伊賀市

上野天神祭(鬼行列とだんじり)

毎年10月23~25日
今年は10月23日(金)~25日(日)



百数十体の鬼たちが上野城下を練り歩く

豪華な絵巻物のように練り広げられる荘厳な御神輿の巡幸、これに供奉する百数十体の鬼行列、そして雅調豊かな祭囃子を奏でながらこれにつづく九基のだんじり。400年の伝統を持つ上野天神祭は、10月23日から3日間盛大に行われ、毎年多くの観光客で賑わいます。なかでも、藩主藤堂高虎公から拝領した能面を使用した鬼行列は、高虎公の眼病平癒(へいゆ)の祈願と悪疫退散や豊穰(ほうじょう)を祈願して、それ以降、祭礼にはその面をつけるようになったと言われており、全国でも珍しい仮装行列です。

高虎公は、城郭普請のため、城域に鎮座する天神宮を城外の現在地に遷して社殿を再興し、産土神として崇めました。以来、天神宮は菅原道真公信仰の高まりとともに、藩主や町民に崇敬されてきました。戦国の乱以降、途絶えていた祭礼も、万治3年(1660年)に復興され、練物の巡行は上野城下の町民によって取り仕切られました。以来、歴代藩主から「上野天神祭礼御覧」という御せがあり、各町内の人々は、絢爛豪華に飾り立てた「だんじり」の巡行を競い合っていたといわれています。そして町人の地位が一層高まる文化・文政のころに、現在の上野天神祭の原型ができあがり、今に引き継がれています。

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

アクセス

車 : 名阪国道「上野IC」又は「中瀬IC」より約5分

伊賀上野観光協会

<http://www.igaueno.net/maturi/tenjin/index.html>

大分県
中津市

古要神社の傀儡子の舞と相撲

3年ごとの10月12日
今回は、平成29年10月12日(木)



日本最古の人形練り

中津市伊藤田の古要神社で3年ごとの10月12日に行われている神事芸能で、次の奉納は2017年の予定です。傀儡子と呼ばれる練り人形による舞と相撲が行われます。拝殿に幕を張って舞台とし、はじめに古要楽と称する静かな傀儡子の舞を催します。その後東西より各々12体の相撲人形が登場して相撲をとります。傀儡子は木彫りでいずれも30cmから40cmほどの大きさです。東方の横綱格は祇園さま、西方の横綱格は住吉さまとなっており、西方は次々に負けてしましますが、最後には小柄な住吉様が東方の全員をなぎ倒してしまうというユーモラスな内容になっています。

往古は宇佐神宮の放生会で奉納されており、福岡県吉富町の八幡古表神社に伝わる「細男舞(傀儡子の舞)と神相撲」とともに日本最古の人形操りといわれ、「傀儡子」は国指定重要有形民俗文化財、「傀儡子の舞と相撲」は国指定重要無形民俗文化財となっています。

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

アクセス

車 : 東九州自動車道「中津IC」より約10分

中津市ホームページ

<http://www.city-nakatsu.jp/>

神奈川県
小田原市

さがみ にんぎょう しばい 相模人形芝居(下中座)



実施日

毎年各地にて開催

今年は8月22日(土)…横浜人形の家 赤い靴劇場
9月19日(土)…川崎市立日本民家園 旧工藤家住宅

相模人形芝居を伝承する民俗芸能団体

相模人形芝居は、神奈川県でも相模川以西の旧相模の国に江戸時代から伝承されている人形浄瑠璃です。現在は下中座(小田原市)、林座・長谷座(厚木市)、足柄座(南足柄市)、前鳥座(平塚市)の五座が活動を続けていて、年一回一堂に会した相模人形芝居大会を開催しています。

相模人形芝居下中座は、小田原市小竹地区に江戸時代から伝わる三人遣いの人形座です。今は既に無い江戸・東京の人形浄瑠璃の面影を伝えるものとして高い評価を受け、昭和55年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。下中座は後継者育成と伝統芸能を活用した教育をめざし、地域の小学校・中学校・高校でクラブ活動を行っています。現在、座員の三分の一を卒業生が占めるようになりました。

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



横浜人形の家

電車：みなとみらい線「元町・中華街駅」下車、徒歩約3分
JR根岸線「石川町駅」下車、徒歩約13分

アクセス

川崎市立日本民家園

電車：小田急線「向ヶ丘遊園駅」下車、徒歩約13分
JR南武線「登戸駅」下車、徒歩約25分

横浜人形の家

<http://www.doll-museum.jp>

川崎市立日本民家園

<http://nihonminkaen.jp>

地域伝統芸能活用センターよりご案内



日本の祭りin成田 2014 フィナーレ(成田国際文化会館)

地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会あきた
地域伝統芸能全国大会

日本の祭り inあきた2015

題字:菊池錦子氏

開催期間

平成27年10月11日(日)～12日(月・祝)

会場

メイン会場…秋田ふるさと村ドーム劇場(秋田県横手市)
サブ会場…秋田ふるさと村お祭り広場、
(予定) 横手市富士見大通り

主催

- ・秋田県 ・横手市
- ・一般財団法人地域伝統芸能活用センター
- ・「地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会あきた」実行委員会

参加予定団体

- ・秋田県仙北市「角館祭り」
- ・愛知県知立市「知立山車文楽とからくり」
- ・島根県隠岐郡海士町「キンニヤモニヤ祭り」
- ・千葉県銚子市「銚子はね太鼓」
- ・山梨県甲州市「一ノ瀬高橋の春駒」
- ・秋田県横手市「送り盆まつり」
- ・海外招聘団体(韓国・台湾から2団体)
など約30団体が出演予定

●その他 秋田県内市町村観光PRコーナーや飲食・ご当地グルメコーナーを併設予定





宝くじは、 みなさまの 豊かな暮らしに 役立っています。

宝くじは、図書館や動物園、学校や公園の
整備をはじめ、少子高齢化対策や災害に
強い街づくりまで、さまざま
かたちで、みなさまの
暮らしに役立っています。

一般財団法人 日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や
公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。



一般財団法人

日本宝くじ協会

ホームページ

<http://jla-takarakuji.or.jp/>

